

令和4年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

<議事要旨>

■日 時：令和4年5月27日（金）13：30～15：30

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 国営海の中道海浜公園の利用状況、本協議会の進め方について

2) 各主体における昨年度の取組内容及び今年度の取組内容

① 青少年海の家「自然教室や主催事業における環境学習の推進」について、現在行っているプログラムも良いが、自然とは何かを学ぶプログラムがもっとあってもよいのではないか。例えば、国土交通省では、歴史のある松林を復元する事業を行っており、松や海の大事さを子供たちに教えることが、海の中道ならではの自然教育・環境教育ではないか。[有識者]

→松に限らず多くの植物を目で見たり、臭いを嗅いだりして、最終的に道徳教育へ繋げるグリーンアドベンチャーを実施している。松林については大事な教育と考えるが、プログラムを選択するのは学校側であるため、ニーズの面での検討が必要と考える。[園内関係機関]

→青少年海の家を開設した当時は、福岡にしかない海の中道で福岡市の自然を満喫させて勉強させようという考えがあった。国土交通省は松林の復元に力を入れているが、現在、松を植える学習は、小学生等に行っているのか。[有識者]

→植樹については環境共生の森などで、小学生に行ってもらっている。[公園管理者]

→このような学習を自然教室の枠に取り入れて頂けたらと思う。[有識者]

→持ち帰って検討する。[園内関係機関]

② 電動キックボードについて、待ち時間等を考慮して規模、台数等を今後増やす必要はないか。[有識者]

→昨年は試行として海の中道駅口で20台にて運用を開始したが、3月にはPark-PFIにて20台、更にゴールデンウィークには20台増やし、繁忙期は全60台で運用を行った。昨年は、海の中道駅口での貸し出し自転車に占める電動キックボードの割合は約7%だったが、直近では約30%となった。ニーズは確認しているため、今後も徐々に増車を考えている。[園内関係機関]

→電動キックボードの使用に当たって携帯電話が必要とのことだが、持っていない方への対応はどうか。[有識者]

→ほとんどの方が携帯電話を所持している。また利用時に携帯電話が必要な旨を案内しているため、ほぼ定着している。[園内関係機関]

→テレビにて危険性についての報道を多く見かけるが、警察と連携して安全面に関する講習会を開くと電動キックボードの安全性や利用率が増える可能性があるのではないか。[有識者]

→園内では安全性に考慮し、速度を上限15kmにするなど事故がないように対策している。[園内関係機関]

③ P-PFI事業の開業にあたり各種メディアに取り上げられていたが、記者に直接会い、記事を書いてもらえるように手配すると、より興味を持って貰えると考えているのでご検討いただきたい。[有識者]

→まだまだ広報活動は不十分と感じているため、今後の参考にさせていただく。[園内関係機関]

④ グランピング等で、団体を含め、夜間にトラブルが起こった事例はあるか。[有識者]

→今のところ騒音等含め、トラブルはない。[園内関係機関]

⑤ 動物の森やサンシャインプールのバス停に関して、乗り場が分かりにくく見つけてもバスがなかなか来ないことがよくあると感じる。バス停がわかりやすくなることは賛成だが、この交通結節点は自転車や電動キックボードの駐輪・駐車、バスの通行、また小さな子供も多いことから、歩道のサインや、駐輪・駐車スペースとバス乗り場との整合性など、安全面と分かりやすさを兼ね備えた設計を行っていただきたい。

また、バス中心の交通結節点のイメージになっており、今後、デザイン的に動物園のわくわく感やサンシャインプールのイメージが表現され、さりげなくバスが通るような、歩く人やキックボードに乗る人が主役という方向で検討していただくと公園として楽しいのではないか。[有識者]

→現在基本設計が終わったところであり、結節点ということで安全性等ご指摘いただいたことを一つ一つ詰めて行きながら進めていきたい。また、わくわく感も表現できるように検討していきたい。

[公園管理者]

⑥ 企業向け研修メニュー（案）について、施設や乗り物のそれぞれのキャパシティと一般利用客との整合性をシミュレーションしながら、各施設が一般客の利用に差し障りがないようにスムーズな体制作りを行う必要がある。パッケージの中で、利用者の選べる自由度と管理者の運用の行いやすさとのバランスを取る必要もあるが、利用者にもアンケートをとり、運用側の問題点も洗い出しながら検討する必要がある。[有識者]

→今後、公園内で調整する段階だが、規模感や一般利用者とのどのように整合していくか、またスムーズな運営についても調整し、まずは、試行しながら、改善を図っていきたい。[公園管理者]

⑦ 多種にわたるプログラムの魅力をどのようにして継続的に発信していくのか。本日の報告と広報のギャップがあるように感じている。

また、各主体の取組の前に可能であれば全体としての評価が統括された表があれば良いのではないかと。各主体の取組が素晴らしいので、各ビジョンの達成率、例えば5段階評価等が目標と併せて記載があると資料として見やすいと感じた。[有識者]

→検討させていただきたい。[公園管理者]

⑧ 各主体の連携が進んでいるが、取組資料の中で読み取りにくかったように思う。今後は、ニーズに合わせて連携が見える化されれば、どのような方たちが行っていて、ここに連絡をすればこのような関わり方ができるなど、外部からの問い合わせもしやすくなるため交通整理の第一歩ができると思う。[有識者]

→窓口のわかりやすさなど、改善の必要はあると思うため、外向けのわかりやすい発信方法について、検討させていただきたい。[公園管理者]

⑨ 評価に関して入場者数の定量的なデータがあったが、例えば利用者の声や改善事項などはオンライン等でも収集できるため、潜在的なニーズを拾い、それを改善するために、もう少し定性的な評価も反映したほうが良いのではないか。実際に現場で各主体が感じている反応や意見について、少なくとも協議会に関わっているメンバーと共有し、できるだけ効率的により良いマネジメントに反映していくなど、ぜひ検討頂ければと思う。[有識者]

→公園では利用実態調査でご意見を伺っているが、協議会での報告や、より良くしていくためにどう繋げていくか、整理したい。また、現場での来園者の主な意見は毎月行っている管理運営委員会にて関係者で共有し、今後の対応を検討している。[公園管理者]

→毎年行っている利用者アンケートを工夫して発展型をご検討いただきたい。[有識者]

⑩ 広報の重要性について、過去に新聞・雑誌・テレビ・ラジオでどれくらい取り上げられたか、その時間とスペースを金額換算した結果、3,000万円の費用が5億円の宣伝価値になったという事を会議で報告した事例があった。一つの参考として取り上げることも検討頂ければ良いと思う。[有識者]

3) サイクルツーリズムの取組について

① 本日、サイクルツーリズムの取組について紹介されたが、今後サイクルツーリズムを意識して海の中道でもやっていきたいという事か。ご紹介された趣旨を伺いたい。[有識者]

→海の中道海浜公園内にもみなとサイクルステーションやひかりかぜサイクルステーションがあり、海の中道と志賀島の周遊性を向上することにより地域の盛り上がりの一躍を担えるという位置づけもあり、広域レクリエーション対応の公園の機能だけでなく、地域との連携やサイクルツーリズムの取組を通じて、各主体と連携して進めて行きたいと考えている。そのため、本日はゲストスピーカーとしてお越し頂いた。[公園管理者]

② サイクルツーリズムは非常に注目を浴びており、福岡県も取り組んでいるところで、5月15日の福岡市政だよりに取り上げて頂いたのはありがたい。加えて、海の中道の美しさも併せて次回紹介してもらおうよう、福岡市へアプローチしてはどうか。[有識者]

→福岡市では、街から非常に近いところに自然があり、東の志賀島、西の北崎という海に近いエリアを「East&West Coast プロジェクト」と銘打って自然を活かした観光振興や地域活性化を進めている。Park-PFI 事業のスタートを機に、国土交通省をはじめ、三菱地所（株）にも協力頂き、雁ノ巣レクリエーションセンターや海の中道海浜公園の P-PFI 内にのぼりを複数設置し、市のプロジェクトを周知する取り組みも行っている。また、福岡市の事業として無電柱化や道路の美装化、観光振興や事業活性化等にも取り組んでおり、今後も協力をお願いしたい。[園内関係機関]

－以上－